



泊小学校だより

令和3年3月18日

～潮風の中でたくましく～

第20号 校長 栗原 歳盛

6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます

いよいよ明日卒業式です。6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。全校から憧れられた6年生、手本として素晴らしいなあと思われる6年生に成長してこの日を迎えました。保護者の皆様は子どもさんの小学校6年間の、あるいは12年間の成長を感慨深く見つめておられると思います。

令和2年度は新型コロナウイルス拡大防止の対策を取りながら思うように活動のできなかった1年間でした。しかし、その中でも6年生はやるべきことを考え、どの活動も一生懸命取り組みました。

遠足ができなかったのでたてわり班活動がなんとかできないか考え、工夫してたてわり班遊びをしました。その願いと工夫の思いが伝わってきました。

2学期の運動会や学習発表会でのよく働く姿も心に残ります。運動会で初めての係をする4年生によく声をかけ進めていました。赤白の応援リーダーの掛け声で全校が声援を送り合う姿もいい姿でしたね。



修学旅行がコロナの影響で県内旅行に変更になりました。大山口駅の空襲について考えた平和学習、淀江傘の伝統産業の学習、環境問題を考える学習などよく学びました。どの場所でも説明してくださった方に自分たちが学んだことをきちんと伝える姿がすばらしいと思いました。水木しげるロードでの観光や買い物も楽しみました。宿泊先ではきまりもよく、食事の準備や片づけがとても早かったです。みんなが良く動くので、自分の仕事がすぐなくなってしまうほどでした。地元鳥取県の産業、文化に触れ、よく考え、よく動き、しっかり友だちと楽しんだ修学旅行でした。

行事での6年生の姿もすばらしいですが、なによりも普段の6年生の姿がいつも素晴らしいなあと思います。「6年生としての自覚」がぐんぐん育っていると感じます。人数が少ないからか、一人一人が人に頼らず、よく考え、困った時もすぐ周囲に声をかけてそのままにせず動こうとしていると感じます。いつ見ても手本となる姿を見せてくれます。気づいたら先に進んであいさつをする、下級生に声をかけられたら丁寧に考えて話をする、よく話を聞く、感じたことをその場で伝えることができる等、書き上げればきりがありません。

原動力となった「凡事徹底」の姿勢 たくさんの人たちの支えをわすれない心で

よく頑張っている6年生を見つめながらその原動力を考えます。高学年での「凡事徹底」を大切にした学校生活を積み上げてきたことが大きかったと思います。「きちんとやるべきことをやるのは当たり前だ」と思えるほど、自分の行動を振り返りながら改善努力をしてきたからだと思います。そして、忘れてほしくないことがあります。今までの家の人や地域の人、先生の声掛け、励ましや指導が自分を作り、その土台の上に高学年としての成長が積みあがっているということです。たくさんの人たちの支えをわすれず「凡事徹底」を続けていってほしいです。

卒業生のみなさんのこれからの活躍は、泊小学校在校生の何よりの励ましになります。泊小学校みんながんばっていきます。そして、みなさんを応援しています。